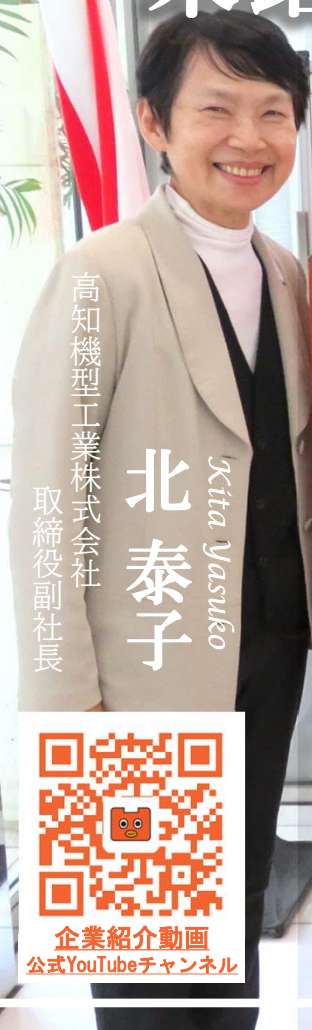


三十年後を見据え、 未踏のレールを走る。



高知機型工業株式会社
取締役副社長

北泰子
Kitayasu Takako



企業紹介動画
公式YouTubeチャンネル



北雅之
Kita Masayuki

高知機型工業株式会社
代表取締役社長



高知機型工業株式会社
Kochi Kigata Kogyo Co., Ltd.

住 所 高知県香南市香我美町下分1244-1
Web <https://www.nc-model-inc.co.jp/>



建設機械や自動車など、私たちの暮らしを支える各種産業用製品の製造に欠かせないのが、金属などを目的の形に成形するための「型」。多様な「型」を扱い、“**型の総合メーカー**”として業界のニッチトップを走り続けているのが、高知機型工業株式会社です。

今回は、高知大学地域協働学部の中澤教授のご紹介のもと、高知大学の学生とともに同社取材しました。

将来を見据えた挑戦や、ものづくりへのこだわりを通して、企業の魅力を深堀りしていきます。

DISCOVERY

SHIKOKU ZAIMU KYOKU

シコク発見@香南市

2025, May.

高知県内での「ものづくり」



高知大学地域協働学部
中澤 純治 教授

高知県は全国でも製造業の集積が非常に少ない地域であり、立地条件やインフラの課題もあって、企業集積が期待されにくい環境です。

その中でも「高知でのものづくり」にこだわりを持ち、着実に技術を磨いている企業が存在します。

こうした企業には、「**技術力があれば立地条件に左右されない**」という確固たる自負が見られます。

高知機型工業はBtoB企業ゆえに一般にはあまり知られていませんが、**実は優れた技術を有する企業**として、多くの方に知っていただきたいです。



提供：高知機型工業株式会社

“型屋”もいろいろ

事業内容を教えてください

戦後まもない頃に創業し、産業用機械の「**模型**」を作る
ところから始まっています。模型というと、ミニチュア模
型といったものを想像されると思いますが、我々が製造し
ているのは主に**铸造製品**を作るための「**模型**」です。プラ
モデルの樹脂を流すための金型だけを作る型屋もあれば、
自動車部品のプレスしかしない型屋もあり、ひとくちに
“型屋”といってもいろいろな種類がありますが、当社は
铸造専門の型屋をやっています。

そのほか海外から**铸鋼品**等を調達する「**素形材の国際調
達**」もやっており、事業内容としては、その二本立てに
なっています。

全国的に見ても、**設計、開発、そして試作から量産品ま
でをワンストップで行う企業はかなり珍しい**と思います。

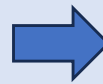
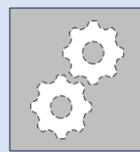
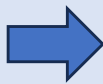
模型とは・・・

《イメージ図》

模型（もけい）

铸型（いがた）

完成品



金属を流し込むための砂型を作る際の“**原型**”とな
るもの。この模型をもとに砂で型（**铸型**）を作り、
その中に溶かした金属を流し込んで、**機械部品**など
を成形する。

“不良ゼロ”を目指した模型づくり

ものづくりへの「こだわり」はありますか

100個作ったら100個すべてが良品となるよう事前対応にこ
だわっています。通常のものづくり製造フローでは、部品を作るた
めに複数の業者が関わります。一例を挙げると、**設計 → 型屋 →
铸物業者 → 溶接業者 → 加工業者 → メーカー** という流れですが、
当社は上流にいる「**型屋**」として、初期段階から問題の芽を摘む役
割を担っています。铸物工場では、当社が製作した模型を用いて大
量生産を行うため、模型の精度次第で製品の良否が決まります。

そのため、当社は3Dモデルを用いて事前に「この形状では不良
が出る」と判断し、設計変更を提案することもあります。**「後から
改造するのではなく、最初に最適化する」**ことを重視しています。

最適化提案後



最適化提案前



（提供：高知機型工業株式会社）

模型の良し悪しはどのように見極めるのでしょうか

型屋には、**形状をただで最適な生産方法を予測できる
「特殊な眼」**があります。例えば、ある製品を見て「この铸造
工法がベスト」「この設計では铸造で不具合が出やすい」など、
すぐに判断できます。私はエンジニアとしての経験も長いですが、
**製品を見て「どこに問題が出るか」が直感的に分かるよう
になるまで、20年くらいかかりました（笑）**

もはや職業病のように、あらゆるものを見れば「どうやって
作ったのか」「どこが型分割面か」が見えてしまいます。フィ
ギュアを見ても、一般の人が「すごい！」と感じるポイントと
は別に、私は「**材質は何か**」「**どの様な型で作ったか**」「**どこ
が難しいか**」という点に勝手に目がいきます。

**製品をただで
問題が分かるなんて、
まさにエンジニア！**



北 雅之 社長

“誰もやってないうちにやる”

企業として大切にしていることは何でしょうか

先代社長が他社に先駆けて、約20年前にアメリカから業務用大
型3Dプリンタを導入しましたが、それは「**未来にこの技術は必ず
必要になる**」と考えたからです。

他社の様子を見てから動くのではなく、**「誰もやってないうち
にやる」**のが当社の方針です。人があまりやらない分野に積極的
に取り組む企業文化があります。

また、単なる営利企業ではなく、**社会貢献の要素を多く含んだ活
動が当社の特色**となっています。



インタビュアー
（高知財務事務所）



北 泰子副社長



高知機型工業株式会社
公式キャラクター（キガッタ）

SDGs経営や働き方改革など様々な取り組みをされています

当社では、現在SDGs 17項目すべてに取り組んでいます。平成28年頃、当時まだSDGsという言葉が浸透していなかったときに、SDGsの存在を知り「これはかならず将来的に必要なものだ」と思いました。いまでは社員ひとりひとりが個人目標のなかにSDGsの項目を落とし込んでおり、自分事として理解するようになってきました。

また、もともとは手作業で進めていたものづくりをデジタル化していったほか、RPAによる業務の自動化を進めて、残業時間削減、年間休日増加を実現させています。

女性活躍も進んでいる

管理職6名のうち3名が女性であり、役員も5名のうち2名が女性となっています。製造の現場でも女性技術者が活躍しています。

直近では、男性育休推進策や介護支援策を整備することで、仕事と育児・介護の両立を目指しています。

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を導入し、いまでは23台のロボットが業務の自動化を担ってるみたい！



すごい！



インタビュアー
（高知大学・地域協働学部）

「コストが増える」という理由で働き方改革が進まない企業も多いと聞きます

何をやってもコストは増えます（笑）。当社はコストのみに重点を置いておらず、どちらが企業としてあるべき姿なのか、という点を最優先に考えて判断しています。

例えば、地域住民の皆様向けに「防災訓練付きオープンファクトリー」を実施していますが、これは生産を一時的に止めてでも行うべき取り組みだと考えています。

重要なのはその一時的なコスト比較よりも“企業としてあるべき姿は何か”ということだと思います。

中澤教授の視点①

技術力に加え、SDGs経営への積極的な取り組みなど、環境や多様性への配慮においても先進的な姿勢がうかがえます。

とりわけ、女性の社会進出を支援する体制は非常に充実しており、高知県内においても、先進的な取り組みで評価されています。

“触れる”をコンセプトにした新しいフィギュアとアート作品



現在、チャレンジしていることはありますか

当社の展示室にも龍馬像を置いてありますが、フィギュア事業を始めています。実は、フィギュアのような複雑な形状にも、型屋の技術が活かされています。単なる模型製作ではなく、設計・材料・解析・表現までトータルで支える技術者集団として、私たちは挑戦を続けています。

当社のフィギュアは主に「銅像」として製作しています。通常は「壊れるから触らないで」と言われるフィギュアに対して、「どんどん触ってください」という新しいコンセプトを導入しました。

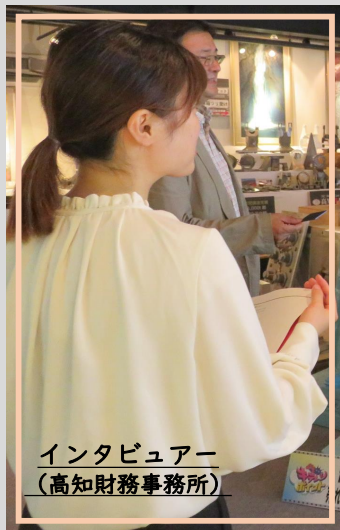
また、当社のデジタル技術を活かして、彫刻家の塑像（粘土像）から短行程で金属彫刻にしてしまうチャレンジは、日本初、いや世界初かもしれません。

◀彫刻家・阿部鉄太郎×高知機型工業株式会社

（提供：高知機型工業株式会社）

社屋玄関に鎮座する黄金の龍馬像 ▲





フィギュア製作に至った経緯は

きっかけは、高知工科大学データ&イノベーション学群での講演でした。その中で、「**高知はアニメ文化が強い。この強みをビジネスに活かすべきだ**」という言葉に強く心を動かされました。

そこから「有名フィギュアの銅像（銅合金）を作ろう」と決意し、他社の協力も得ながら、約2か月で完成させました。主な目的は展示会でのアイキャッチです。展示会では「話題性」や「目新しさ」が求められるため、強いインパクトを与えることが重要です。

こうした取り組みは、リクルートや広報活動にもつながっており、「この会社、面白そう」と感じてもらうことで、来場者の関心を引き、本業の話へとつなげることができます。最近はネットニュースでも何度か取り上げていただいたところです。

ちなみに、これらのフィギュアはまもなく販売を開始する予定です。



銅合金の恐竜の頭骨 ▶
(提供：高知機型工業株式会社)

ほかにも超有名フィギュアの銅像や有名ボカロキャラ銅像の製作計画も進行中！



三十年後を見据えて・・・

今後の展望について教えてください

新しい事業を始める際に「**三十年後も残る業種・技術は何か？**」という観点で考えることが多いです。その観点で廃止した部署もあり、常に三十年後を見据えた事業構想を行っています。

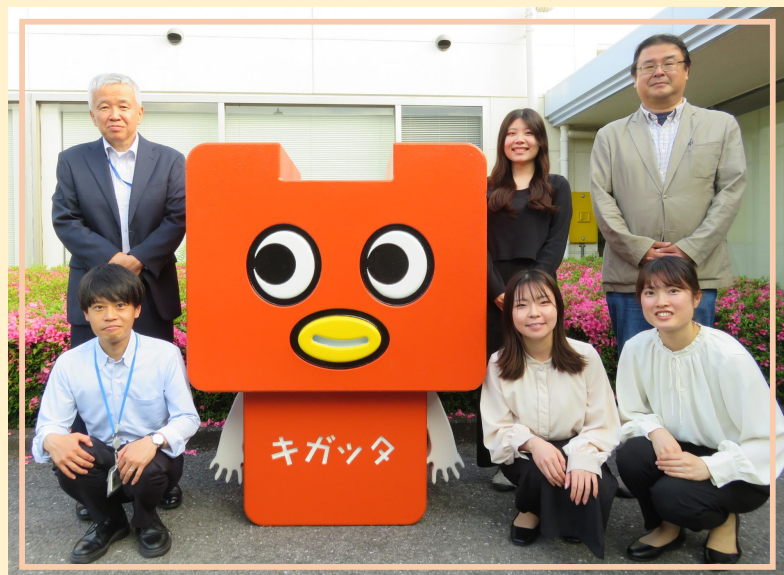
今後は次世代への事業承継も視野に、**魅力ある面白い企業であり続けること**を目指しています。

中澤教授の視点②

高知県では、金融機関によるアニメ産業集積の支援や、フィギュアメーカーによる観光施設運営、自治体によるアニメ聖地巡礼を取り入れた観光戦略などが進んでいます。その中でフィギュアは高知にとって重要なコンテンツのひとつです。

同社ではBtoC分野への展開も進めており、人気アニメの美術模型やフィギュア製造など、創業時から培った技術を活かした新しいチャレンジが行われています。

取材を終えて・・・



高知機型工業取材させていただき、「30年後にあるかないか？」という考え方で新しいことに挑戦している姿がとても印象的でした。人があまりやらない分野に取り組み、機型に特化しているからこそ、経済規模の小さい高知県で、ものづくりの土台を支える会社として活躍ができていたのだと感じました。また、女性が働きやすい環境も、素敵だなと思いました。（高知大学地域協働学部・岡崎）

お話をお伺いする中で、取り組まれていることの幅広さに驚きました。特に、地域の方たちと行う防災訓練について、「コスト重視ではなく、企業のあるべき姿を考えて行っています」とおっしゃっていたのが印象に残っています。そういった社長や副社長の誠実な思いが製品に表れ、人を惹きつけているのだと感じました。（高知財務事務所・堀江）

新規事業や環境に配慮した取り組み、従業員や地域の方々のためになることなど、思いついたことをいち早く実行に移されている高知機型工業。多くの人がやっていることに競争上の優位性はない、1番初めにやるから道は開けるという考え方が、先端を走り続けるカギなのだと思います。

チャレンジするからこそ価値がある、と言う北社長のよう、私もいろいろなことにチャレンジしたいです。（高知財務事務所・土井）